

ハンドボール No. 67

Japan Handball Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 フロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合番号 **玉名-男26**

年月日 **2019年8月5日(月)**
 大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A		大分高等学校						県長野南高等学校						B	
熊本県		玉名市				玉名市総合体育館						2回戦			
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m20-30分	A	B	
	19	5	38	11											
7m得点/総数		A			チームタイムアウト			B			7m得点/総数				
0/0		1	2 後半	3	1	2	3	15/9	2/2						

No.	大分高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県長野南高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	野上 遼真							1	大矢 怜旺						
2	安只 燎馬	2						2	吾妻 洋行	2	1				
3	江藤 辰紀	10						3 C	中島 泰心	1					
4	安部 朱璃	2						4	窟田 大夢	2					
5	村井 蒼	2	1					5	海沼 虹希						
6	佐藤 響誠	2						6	野澤 比呂						
7 C	住吉 連	2						7	中澤 亮翔			1	1		
8	波津久 嵩登	1		1				8	三澤 海斗	3					
9	佐野 祐太	13						9	村田 陽	1					
10	大石 貴人							10	北澤 航聖						
11	森 悟輝	1						11	佐藤 綾平	1		1			
12	工藤 浩志							12	後藤 雅						
13	阿南 龍貴			1				13	塚田 駿輔						
14	林 優希	3						14	伊熊 晴	1					
役員A	富松 秋實							役員A	鳥谷 越洋						
役員B	藤家 圭二							役員B	浅川 和輝						
役員C	竹下 忠臣							役員C	西尾 南美						
役員D								役員D							

A **佐藤秋實** チーム役員A署名 **鳥谷越洋** B

レフェリー	大西 健太郎	井関 敦	大西健太郎	井関敦
TD	疋田 雅己	藤本 幹生	疋田雅己	藤本幹生
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 69

令和元年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 5日 月曜
会場	玉名市総合体育館
種別	男子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		大分	38	19-5	11
			後半		
			19-6		
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	<p>前日、接戦を制して波に乗る大分に対し、夏の全国久しぶりの登場の長野南がどのような戦いを見せるのが、先制したのは、長野南。しかし大分もすぐさま取り返す。大分DFはしっかりと壁を作り、6人が見事に連動して相手を外角に追い込んでいきマイボールにしていく。そこから全員がよく走り次々に速攻を繰り出し、10分過ぎから8連続得点を奪う。長野南もスピードがあり、野澤のフェイントプレーやGK後藤も再三の好セーブで対応するが、大分DFを崩すまでには至らず、逆に大分は攻撃の手を緩めることなく、終盤も全員が走り、速攻で得点を積み上げ、14点のリードで前半を折り返す。</p>
	後半	<p>長野南は後半開始早々香妻がゴールを決め、反撃ののろしを上げる。しかし大分もフリースローから佐野が両足ジャンプで豪快にロングシュートを沈める。その後長野南も中島と村田で食い下がり得点チャンスも作るが、長身GK野上が立ちはだかり、大分ゴールを割らせない。また、攻めては中盤までに4連続得点と6連続得点で29対8とし、試合の行方をほぼ決定づける。しかし粘りを見せる長野南は、後半18分過ぎに2本の7mTを決めて得点を10点にすると、選手、ベンチも一体となって大いに盛り上がりを見せた。メンバーを入れ替えながらも、そのDF力とそこから繰り出されるスピードあふれる速攻が最後まで衰えなかった大分が、3回戦へと駒を進めた。</p>

記入者	松本 政之
-----	-------